

花きの県別生産出荷概況(9月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	9月出荷見込み 千本		主産地	9月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
バラ	茨城県	11 (98%)	つくばエクスプレス ローテローゼ パレオ クリーミーエデン	630	510	石岡市 旧三和町 行方市	30	40	30
	栃木県	13 (95%)	ローテローゼ レッドスター ノブレス	600 (91%)	550 (91%)	宇都宮 小山	20	40	40
	山梨県	4.5 (100%)	ローテローゼ サムライ	350 (100%)	320 (100%)	笛吹市 (御坂町)	35	35	30
	群馬県	19 (100%)	ローテローゼ ティケネ ノブレス、ビビアン マレーラ	950 (100%)	675 (100%)	前橋市、甘楽富岡、 利根沼田	25	35	40
	愛知県	42 (102%)	レッドスター ローテローゼ サムライ ティネケ、ファンタジー アヴァランチェ ファンファール	2,600 (100%)	1,200 (100%)	JA愛知みなみ JA豊橋 JAひまわり JA西三河	35	30	35
輪ぎく	福島県	18.5 (105%)	スーパーイエロー 精の曲 深志の匠	1,500 (100%)	1,200 (100%)	会津みどり	20	50	30
	秋田県	32 (100%)	精の曲、岩の白扇 スーパーイエロー 北の八海、精妃 精の零、神馬	7,408 (96%)	3,400 (96%)	JAこまち JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと	30	40	30
	愛知県	81 (102%)	岩の白扇 優花 精の一世 精の枕	24,000 (97%)	14,500 (97%)	JA愛知みなみ JAひまわり JA西三河 JAあいち知多 尾張地域	30	40	30
小菊	茨城県	143 (100%)	祭典 せせらぎ ひなた 精やすらぎ 天露 静香	6,000	4,100	石岡市、旧友部町 筑西市、旧銚田町 土浦市	35	45	20
	秋田県	30 (107%)	玉姫、このみ 小雨、紅天下 やぶさめ	6,700	3,080	JA秋田みなみ JA秋田しんせい JA秋田おばこ JA秋田ふるさと	40	35	25
アルストロメリア	北海道	8.3 (98%)	レベッカ オルガ メイフェア エベレスト	7,302 (96%)	2,250 (96%)	新篠津村 (JA新しのつ)	20	20	60

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	9月出荷見込み 千本		主産地	9月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
トルコギキョウ	山形県	30.2 (101%)	ロジーナシリーズ エクローサシリーズ ピッコローサシリーズ セレモニーシリーズ ファイナルシリーズ	1,340 (101%)	938 (101%)	JA新庄市 JA新庄もがみ JA山形もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ	40	30	30
	茨城県	10 (100%)	セレモニーライトピンク スターピンク パレオゴールド	320	255	水戸市 常陸大宮市 筑西市	40	40	20
	北海道	30.1 (97%)	ピッコローサスノー 北斗星 パレオピンク ロジーナ3型ホワイト	6,451 (102%)	1,900 (102%)	由仁町(JAそらち南)	40	30	30
	福島県	11.5 (99%)	ロジーナ系 エクローサ系	600 (98%)	480 (98%)	あいづ 会津みどり	35	35	30
	長野県	40 (109%)	八重各品種 パステルムラサキ パステルピンク	9,800 (109%)	2,700 (109%)	北信 松本 伊那 諏訪	35	35	30
	秋田県	11 (110%)	こまちホワイトドレス ロジーナスノー 海ほのか ボヤージュホワイト	2,098	965	JAこまち JA秋田しんせい JA秋田おぼこ JA秋田ふるさと JAおものがわ	15	40	45

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調であるが、高温の影響により一部の圃場で花の小ぶり等の傾向が出ている。 ・一部圃場でアザミウマ類、うどんこ病が散見される。 	<p>現状</p> <p>国産はブライダル需要減で白中心に厳しい取引。猛暑でポリウム不足目立つ。エクアドル、ケニア産は大輪系は国産品質を補う形で入荷促進。需要不安定で価格も上げ下げあり。</p>
	<p>高温の影響で夜冷の効果が薄くなっている。改植分は9月より本格出荷となる見込み。</p>	<p>見通し</p> <p>ブライダル需要が始まり中旬の連休がらみでは引き合い強まる見込み。国産品質は猛暑の影響から上位等級は品薄。全般的に強含みの展開を予想。3670000本 70円</p>
	<p>丈がみじかいく花が小さい傾向。病害虫の被害は少ない。</p>	<p>FAJ: 暖地物の出荷始まり、敬老の日、秋のブライダルに向けて入荷量増加する。</p> <p>第一花き: 需要・入荷共に多く無い時期で業務需要中心の流れ。日持ちも良く無い時期で品種・品質格差による単価差は出る。SD@70 SP@80</p>
	<p>作柄は平坦地、山間地ともに並。平年並みの出荷量を見込む。</p> <p>8月2週 出荷量65万本/週(116%) 夜冷栽培中心の出荷となっており、現状は昨年より10%強出荷量が多い。今年は、猛暑の影響で株への負担は大きいと予想される。4月から昨年を上回る出荷量(昨年が4-7月が少なかったため)であったが、9月は昨年同様少なくなる見込み。</p>	
輪ぎく	<p>9月咲きの定植は例年通り6月上旬で終了し生育も順調であったが、高温が続いたためにやや草丈の伸長が前年に比べて短めの傾向が見られる。</p>	<p>現状</p> <p>各産地、高温の影響でお盆需要期前半から出荷少なく、需要期後の入荷が大きく減少することなくダラダラ残る入荷となった。その為8月前半から品薄感があり引合いは強く、需要期後半まで堅調に推移した。需要期後は一転、需給バランスが崩れ厳しい相場展開となった。</p>
	<p>彼岸向けの施設物は順調に需要期にはまりそうだが、露地物は前進傾向にある。</p> <p>8月2週 出荷量810万本/週(前年比109%) 精の一世中心の出荷。その他岩の白扇、精の波、フーラル優花など。9月については猛暑の影響を受け伸びが悪いほ場が見受けられる。寸足らずの太い出荷物が増える可能性もある。また、暑さによる奇形花の心配がある。現在出荷の岩の白扇については、徐々に奇形花が見られる。9月出荷については、もう少し間際にならないとわからない。作付けは昨年より若干多いが、前述のこともあり昨年を下回る出荷量を見込む。</p>	<p>見通し</p> <p>高温の影響もあり例年通りの入荷は期待できない為、彼岸需要期中心活発な取引が予想される。しかし非需要期については引合いは弱く厳しい展開となる見込み。</p> <p>FAJ: 彼岸に向け入荷量増加する見込み。しばらく品薄感続く。</p> <p>第一花き: 彼岸・業務需要主体の流れ、入荷バランスによる需要も減少しやや厳しい流れが予想される。@65</p>
小菊	<ul style="list-style-type: none"> ・品質は概ね順調であるが、高温の影響により一部の圃場で生育遅れが見られる。 ・一部圃場で、タバコガ、カメムシの発生が見られる。 	<p>現状</p> <p>露地産地がほとんどの為、高温の影響で大きく需要期をはずして遅れる産地多い。その為近年にない品薄となり需要期中は高値での取引が続いた。需要期後はお盆用に作付けた商品が溢れ大きく相場を下げ低調な取引となった。</p>
	<p>彼岸向けの施設物は順調に需要期にはまりそうだが、露地物は前進傾向にある。</p>	<p>見通し</p> <p>高温の影響もあり例年通りの入荷は期待できない為、彼岸需要期中心活発な取引が予想される。しかし非需要期については引合いは弱く厳しい展開となる見込み。</p> <p>FAJ: 彼岸需要に向けて、安定した入荷と販売が続く見込み。</p> <p>第一花き: 彼岸需要中心の流れ、今のところ順調な感じ。@35</p>
アルストロメリア	<p>連日の高温の影響により、生育が進んでおらず、思うように花が咲いていない状況です。その為、9月中旬までの出荷数量は減少することが見込まれます。しかし9月下旬からは、回復する見込みです。</p>	<p>現状</p> <p>愛知・山形・北海道産中心の入荷。改植シーズンに入り各産地入荷少なく、業務需要中心の取引展開となった。</p> <p>見通し</p> <p>引き続き、愛知・山形・北海道産中心の入荷。下旬頃より新植もの出荷も始まり、緩やかに増加となる。270,000本 @80</p>

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	高温により生育はやや前進している。病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好と見込まれる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">現 状</div> <p>上旬は主力の岩手、山形が前進傾向となっていたことから入荷は昨年を大きく上回ったが中旬以降は端境期となり出荷量は落ち着き減少。販売面は上旬、お盆需要はあったものの潤沢感があり単価面では厳しい状況であったが中旬以降、プライダルの動きもあり引き合いも強く活発な動きとなった。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調で、平年並みの出荷が見込まれる。 ・一部圃場でヨトウムシの発生が見られる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">見通し</div> <p>前進していることから、上旬はある程度出荷量はあるものの中旬以降は、昨年を下回る可能性が高い。販売面では月を通して、お日柄も良い日が多いことからプライダル需要を中心に活発な取り引きが見込まれる。</p>
	高温が続き、生育は1週間～10日前進しています。	<p>大田花き： 前進していることから、上旬はある程度出荷量はあるものの中旬以降は、昨年を下回る可能性が高い。販売面では月を通して、お日柄も良い日が多いことからプライダル需要を中心に活発な取り引きが見込まれる。</p> <p>FAJ： 北海道を中心の入荷。白八重を中心に引き合い強まる見込み。</p>
	6月以降高温が続いているため開花が前進傾向。9月彼岸用の作型についても草丈が確保されないうちに着蓄している圃場が見られ、今後の天候にもよるが彼岸需要前にピークとなるか。	<p>第一花き： 業務・彼岸需要主体の流れ、入荷状況にもよるが落ちついた流れが予想され、品種・品質格差による単価差は出る。@105</p>
	次第に数量が纏まってくる。昨年より抑制作型が増えている産地ある。前進傾向。極端な出荷ピーク無く平準出荷になる見込み。	
	燃料費の高騰により、9月～10月の出荷が増えてきている。8月の高温による影響で、一部地区で青虫が発生している。	

東京市場の切花入荷量と単価(7月)

その1

(単位:千本、円、%)

区分		第一花き		大田花き								FAJ	
		月計	前年比	上旬	前年比	中旬	前年比	下旬	前年比	月計	前年比	月計	前年比
輪ギク	数量	2,500	70%	1,570	82%	1,105	96%	1,230	84%	3,906	86%	1,738	59%
	単価	76	165%	69	150%	67	164%	67	171%	68	159%	67	181%
SPキク	数量	3,410	332%	913	92%	744	104%	757	91%	2,414	95%	989	133%
	単価	65	133%	56	119%	56	130%	59	144%	57	130%	55	109%
コギク	数量	1,439	77%	628	54%	562	92%	525	48%	1,716	60%	702	64%
	単価	46	177%	39	122%	41	137%	41	195%	40	147%	39	153%
カーネーション	数量	999	84%	706	89%	605	106%	558	119%	1,870	102%	758	96%
	単価	40	108%	37	100%	42	124%	44	110%	41	111%	41	108%
SPカーネーション	数量	903	110%	585	107%	508	111%	535	135%	1,629	116%	1,126	111%
	単価	42	98%	40	93%	45	107%	47	104%	44	101%	31	102%
バラ	数量	728	91%	887	73%	792	84%	1,026	102%	2,706	86%	1,201	87%
	単価	53	100%	43	102%	67	122%	49	96%	52	107%	48	102%
ユリ テッポウ	数量	123	94%	56	78%	99	111%	113	120%	270	105%	101	77%
	単価	78	107%	101	123%	65	116%	63	117%	72	115%	70	129%
ユリ アジアソテック	数量	236	104%	133	75%	82	110%	79	213%	294	116%	41	72%
	単価	77	96%	61	119%	69	136%	69	204%	66	128%	55	121%
ユリ オリエンタル	数量	301	102%	173	64%	187	89%	210	96%	571	82%	553	98%
	単価	172	97%	190	125%	203	128%	170	116%	187	123%	114	110%
カスミノウ	数量	153	75%	106	78%	84	74%	104	124%	296	88%	143	97%
	単価	73	122%	61	109%	76	158%	74	95%	70	119%	64	106%
グラジオ ラス	数量	108	95%	124	79%	126	100%	115	119%	366	96%	86	129%
	単価	56	108%	55	122%	54	115%	56	112%	55	117%	45	119%
ガーベラ	数量	359	86%	406	74%	330	79%	419	89%	1,156	80%	366	97%
	単価	23	121%	18	95%	29	145%	23	135%	23	123%	26	112%
スターチス シヌータ	数量	522	110%	314	99%	255	144%	213	151%	783	123%	334	107%
	単価	46	112%	45	105%	41	128%	38	123%	42	112%	44	106%
スターチス HB	数量	270	145%	115	100%	117	134%	146	124%	380	118%	29	176%
	単価	49	83%	44	92%	46	96%	46	102%	45	97%	54	76%
カラー	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	79%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	108%
トルコ ギキョウ	数量	616	100%	351	85%	406	120%	439	128%	1,198	110%	678	100%
	単価	107	106%	112	113%	109	100%	88	80%	102	97%	94	99%

その2

(単位:千本、円、%)

区分		第一花き		大田花き								FAJ	
		月計	前年比	上旬	前年比	中旬	前年比	下旬	前年比	月計	前年比	月計	前年比
シンビジューム	数量	12	92%	8	90%	8	98%	8	78%	25	88%	7	71%
	単価	482	100%	520	93%	544	107%	514	103%	526	101%	567	112%
デンファレ	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	158	80%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	133%
アルストロメリア	数量	82	66%	78	68%	57	72%	41	66%	178	69%	105	74%
	単価	72	114%	62	115%	68	115%	74	119%	67	116%	70	126%
ブバルディア	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61	83%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	115%
ヒマワリ	数量	319	94%	392	89%	328	98%	439	117%	1,161	101%	-	-
	単価	46	102%	44	102%	52	106%	51	98%	49	103%	-	-
クジャクソウ	数量	49	95%	56	77%	30	69%	33	83%	120	76%	38	53%
	単価	42	102%	37	112%	45	125%	43	116%	41	117%	38	119%
リンドウ	数量	574	78%	169	66%	237	64%	504	76%	911	71%	283	49%
	単価	56	147%	59	111%	50	147%	41	205%	47	152%	50	174%
アスター	数量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	57%
	単価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	105%
リアトリス	数量	149	72%	188	68%	94	126%	31	70%	314	80%	-	-
	単価	34	131%	30	136%	25	139%	28	127%	28	133%	-	-
デルフィニューム	数量	183	94%	117	88%	110	124%	109	98%	337	101%	182	77%
	単価	77	104%	66	96%	77	90%	81	100%	74	96%	68	103%
切花総数	数量	9,527	92%	12,006	81%	10,229	99%	11,366	96%	33,603	91%	-	-
	単価	59	123%	55	115%	58	121%	55	120%	56	118%	-	-